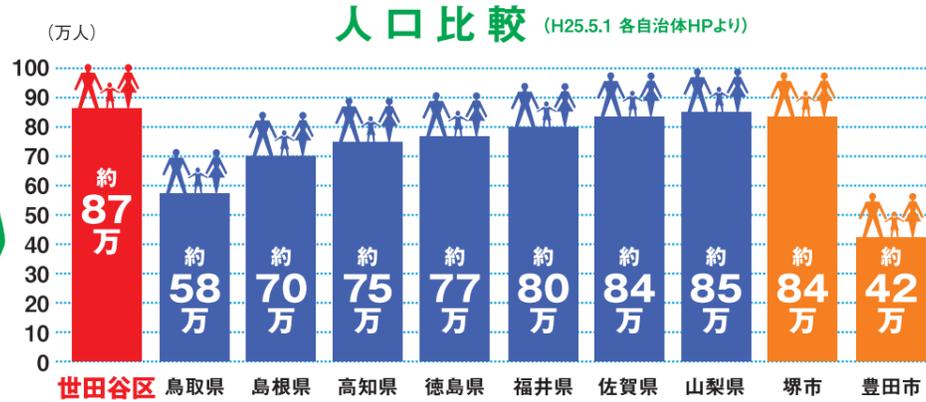


世田谷ナンバー

世田谷区は...



7つの県より人口が多い。



人口、登録自動車数は都内最多。

世田谷ナンバーがむしろ自然!

51団体の「世田谷ナンバーを実現する会」

(H25.7現在)

世田谷ナンバーいつ実現する会 中旬発足

東京都世田谷区は、自動車の「世田谷ナンバー」の二〇一四年導入を目指し、今年中旬にも「実現する会」を発足させる。自動車の「世田谷ナンバー」が実現すれば都内初となる。保坂展人区長が七日、発表した。

実現する会には、区内の産業団体も参加、PR活動して導入機運を盛り上げる。東京商工会議所世田谷支部の栗山幸夫事務局長は、充を決めた。区は国交省から要綱が発表されるのを待たず、起爆剤として、認可時に導入対象地域の登録自動車数が十万台以上を条件の一つに「富士山」「伊豆」などのナンバーが誕生されている。

- 世田谷区町会総連合会
- 成城交通安全協会、成城防犯協会
- 東京青年会議所世田谷区委員会、世田谷・北沢・玉川法人会
- 東京乗用旅客自動車協会目黒世田谷支部、(株)小田急バス、(株)東急バス、(株)小田急交通、東京都トラック協会世田谷支部、世田谷トラック運送事業協同組合
- (株)東京トヨタ自動車、(株)東京トヨペット、(株)トヨタ東京カローラ、(株)ネットトヨタ東京、(株)東京日産自動車販売、(株)東京スバル、(株)東京日野自動車
- 東京商工会議所世田谷支部、世田谷区商店街連合会、世田谷工業振興協会、東京中央農業協同組合、世田谷目黒農業協同組合、世田谷区産業振興公社、世田谷区ほか

世田谷ナンバーの実現に向けて

WE HAVE AN IDEA FOR SETAGAYA NUMBER!

アンケート調査

- 期間平成25年4月1日～15日 ● 対象等4,500
- 世田谷区在住の20歳以上の男女4,000人
- 区内産業団体、世田谷区中小企業勤労者福祉事業の登録事業者500団体

賛成

79.3%

回答数1,574

世田谷区民

回答数1,984

反対

15.2%

回答数302

無回答

5.4%

回答数108

賛成

82.5%

回答数231

区内事業者

回答数280

反対

15.4%

回答数43

無回答

2.1%

回答数6

ご当地ナンバー 世田谷計画

「世田谷ナンバー」を実現する会が、都内初、来月の申請準備を進める。区民調査で8割弱が賛成。

「世田谷ナンバー」を実現する会が、都内初、来月の申請準備を進める。区民調査で8割弱が賛成。

「世田谷ナンバー」を実現する会が、都内初、来月の申請準備を進める。区民調査で8割弱が賛成。



「世田谷ナンバー」名乗り 国へ要望、実現目指す

世田谷区は、自動車の「ご当地ナンバー」を実現する会が、都内初、来月の申請準備を進める。区民調査で8割弱が賛成。

「世田谷ナンバー」を実現する会が、都内初、来月の申請準備を進める。区民調査で8割弱が賛成。

「世田谷ナンバー」の位置付け

地域振興

安全安心まちづくりの推進

- 第9次世田谷区交通安全計画

観光振興・産業活性化

まちなか観光の推進

- 世田谷区産業ビジョン
- 世田谷区産業振興計画(調整計画)
- 世田谷区観光アクションプラン
- 世田谷区産業振興懇話会提言

期待される効果

運転マナーの向上・事故防止の意識啓発

世田谷の知名度の向上

世田谷ブランドを全国に向けて発信

世田谷への愛着・一体感の醸成

地域振興、観光振興、産業活性化



地域振興での活用案

安全安心まちづくりの推進

【事業主体】警察、交通安全協会、世田谷区など
地域を大切にするセーフティドライブや急発進や急停止をしないゆとりあるエコな運転など、ライフスタイル転換のきっかけとする。

(視点)

運転マナーの向上
事故防止の意識啓発

(活用案)

- 交通安全教室や区内イベントでの啓発活動
- マグネット、ステッカーによる啓発活動
- 庁有車等による啓発活動
- ナンバープレート交換会の開催

知名度の向上・全国に向けた発信

世田谷ナンバーが導入されることにより、「世田谷」のナンバーをつけた自動車
が全国を走りまわる。世田谷の地名だけでなく、世田谷のまち自体に興味や関心
を持ち、世田谷の産業や自然、名所、歴史なども知ってもらう機会となる。

世田谷への愛着・一体感の醸成

世田谷ナンバーの車を目にすることや世田谷ナンバー導入のPRを通じて、
世田谷という地域を意識し、地域活動への参加や区政・まちづくりへの関心
を持つきっかけとする。

観光振興・産業活性化での活用案

まちなか観光の推進

【事業主体】世田谷まちなか観光研究会、民間事業者、産業団体 など
世田谷ナンバー導入を積極的に活用して、世田谷の魅力を発見・創造・発信すること
により、区に訪れる方や区民にも世田谷の良さを改めて実感してもらうきっかけとする。

(視点)

世田谷をPRする

(活用案)

- 区内の見どころ紹介、PRの強化
- 世田谷ナンバーをテーマとした商品開発やロゴマークの活用

区民の愛着を深める

- ラッピング観光バスによるバスツアー
- フォトコンテスト

事業者の活用

- 世田谷ナンバー導入記念イベント
- 世田谷ナンバーで来店した方への特典サービス
- 交流都市でのサービス提供

世田谷 000
せ 20-14

世田谷 00
せ 20-1

平成26年度 ご当地ナンバー

世田谷 ナンバー 実現させよう!

「世田谷ナンバー」の実現には
区民の皆さんの気運の盛り上がりが必要です。

期待
される
効果

- 1 世田谷の知名度が向上し、世田谷ブランドを全国に向けて発信することができます。
- 2 知名度の向上により地域振興、産業活性化、観光振興につながります。
- 3 世田谷ナンバーをつけることで地域に対する愛着心の醸成、さらには世田谷区民としての誇りを高めることにつながります。

お問い合わせ先

世田谷ナンバーを実現する会

事務局
東京商工会議所世田谷支部 〒154-0004 世田谷区太子堂2-16-7
TEL.03-3413-1461 FAX.03-3413-1465

世田谷区

産業政策部商業課 〒154-0004 世田谷区太子堂2-16-7
TEL.03-3411-6652 FAX.03-3411-6635

決定されたら、
いつから?

国や東京都に要望し、早ければ平成26年度(2014年度)中に導入されます。一斉に変わるのではなく、新たに自動車を購入した際などに「世田谷ナンバー」になります。

「世田谷ナンバー」の実現に向けて

自動車のナンバープレートの地域名(23区内は「品川」、「足立」、「練馬」)は、自動車を使用している地域を管轄する運輸支局や自動車検査登録事務所の名称等が表示されています。

平成16年度に全国各地で「ご当地ナンバー」の実現を求める声が上がリ、19の「ご当地ナンバー」が導入されました。その後、再度「ご当地ナンバー」の実現を求める要望が高まり、この度、国土交通省では、ナンバープレートの地域名表示を弾力化し、平成26年度中に実施する方針を発表しました。

「世田谷ナンバー」が導入されたら

世田谷 000
せ 20-14

Q 「世田谷ナンバー」になるのは、どこの地域の自動車ですか？

A 世田谷区に所在地のある自動車です。(世田谷区に使用の本拠の位置を置く自動車)

Q 世田谷区にある「品川ナンバー」の自動車は「世田谷ナンバー」に変わりますか？

A 現在付いている「品川ナンバー」はそのままです。しかし、新たに付与されるナンバーはすべて「世田谷ナンバー」になります。
※本人の希望により有料で「世田谷ナンバー」に変更することはできます。

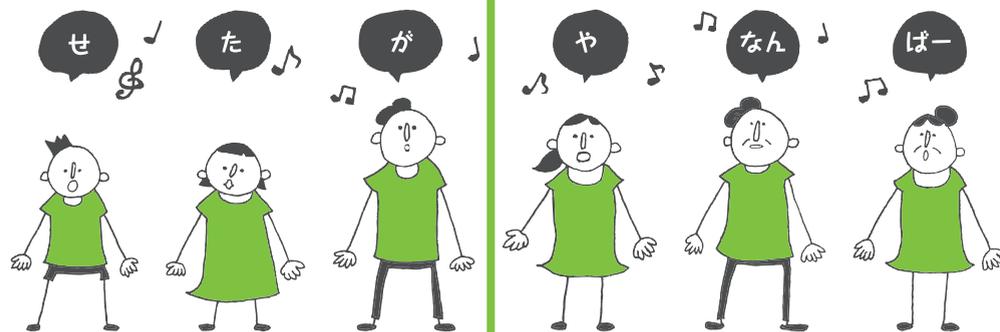
Q 「世田谷ナンバー」と「品川ナンバー」は選べますか？

A 選ぶことはできません。世田谷区で新たに付けられるのは「世田谷ナンバー」のみです。

Q 「世田谷ナンバー」になるのは、どんなときですか？

- A
1. 新車や中古車を購入し、世田谷区で新規に自動車の登録をする場合。(世田谷区に使用の本拠の位置を置く自動車を新規登録するとき)
 2. 引越などにより、世田谷区外から世田谷区に自動車の所在地を変更する場合、区外在住の人から世田谷区在住の人が車を譲り受けた場合など。(世田谷区外から世田谷区に使用の本拠の位置を変更するとき)
 3. ステーションワゴンを改造してキャンピングカーになった場合など。(世田谷区に使用の本拠の位置のある自動車が構造変更等により用途を変更してナンバーが変わるとき)
 4. 世田谷区に使用の本拠の位置のある自動車のナンバープレートを毀損や汚損又は紛失によって変更するとき。
 5. 世田谷区に使用の本拠の位置を置く自動車の所有者が「世田谷ナンバー」への変更を希望する場合。

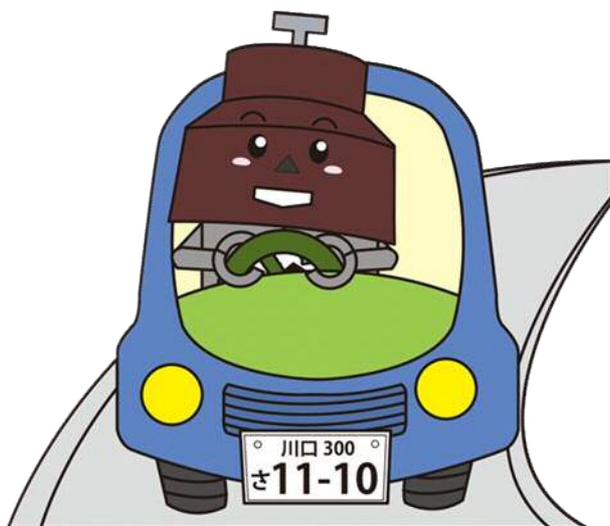
※使用の本拠の位置が世田谷区から他地域に変更となった場合は、ナンバーが変わります。(世田谷区外に引越した場合など)



世田谷ナンバーを実現する会は、平成24年12月に東京商工会議所世田谷支部、世田谷区商店街連合会、(公社)世田谷工業振興協会、東京中央農業協同組合、世田谷目黒農業協同組合、(公財)世田谷区産業振興公社、世田谷区が参加して設立されました。実現する会では、世田谷ナンバー実現に向けた気運醸成活動に取り組んでいますので、趣旨に賛同していただける各種団体等の加入・協力をお願いします。

川口ナンバー

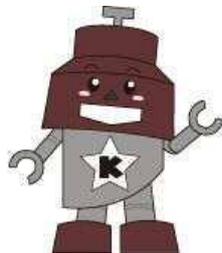
ご当地ナンバー「川口」 導入に関する要望書



川口市マスコット「きゅぼらん」

目 次

I	地域名の表示とその理由	・・・	1
II	新市の一体感の醸成と新たな郷土愛の育成	・・・	2
III	地域振興・観光振興の中での ご当地ナンバーの位置付け、活用方策	・・・	3
IV	地域住民の具体的なニーズの状況	・・・	6



川口市マスコット「きゅぼらん」
” 鑄物のまち ” 川口を象徴する溶解炉「キューポラ」
をモチーフにした、川口市のマスコットです。

I 地域名の表示とその理由

【地域名表示】

川口(かわぐち)

【対象市町村】

川口市



【理由】

川口市は、埼玉県の南端に位置し、鋳物に代表される「ものづくりのまち」、そして「植木・花卉のまち」として、優れた伝統と職人氣質を受け継ぎながら発展してきました。

平成23年10月に鳩ヶ谷市と合併し、政令指定都市を除き全国第3位の人口を擁する都市となりました。川口市と鳩ヶ谷市は、古くは「日光御成道」の宿場町として、共に栄えてきた歴史があります。

合併後における新市の一体感の醸成と新たな郷土愛の育成を目指して、地域名表示を「川口」とするものです。

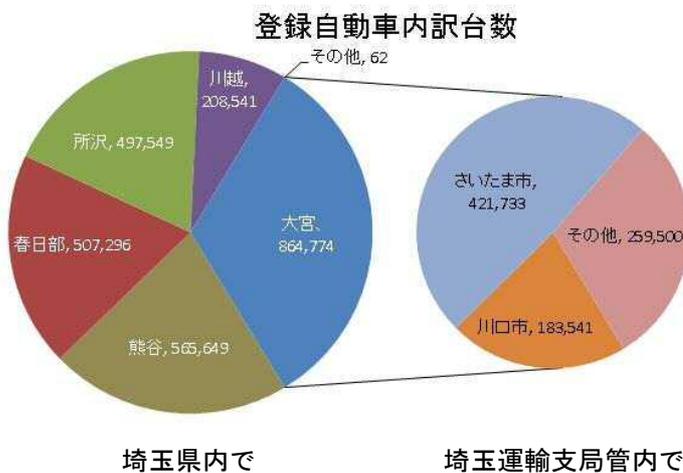
人口	582,185人
世帯	260,963世帯
面積	61.97平方キロメートル

(平成25年7月1日現在)



発展を続けるJR川口駅周辺

川口市域の登録自動車台数



川口市域の自動車登録台数は、平成25年3月31日現在、**183,541台**（旧川口市168,629台、旧鳩ヶ谷市14,912台）です。これは埼玉県全域の6.9%で、埼玉運輸支局管内では、21.2%となります。

Ⅱ 新市の一体感の醸成と新たな郷土愛の育成

合併1周年の記念事業として開催した

「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」



18万人の人出で盛り上がった「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」



「御成道まつり」のポスター

合併1周年を記念し、平成24年11月に、徳川宗家18代当主の徳川恒孝さんや俳優の松平健さんらをゲストに、徳川将軍家の日光社参を再現。沿道には18万人の人出で新市が一体となって盛り上がりました。市民の好評を博したことを受け、今後は隔年で実施する予定です。

次回、平成26年の開催では、「川口」ナンバー誕生による相乗効果を発揮し、第1回を超える大イベントとして開催したいと考えています。

鳩ヶ谷市との合併後の
新市の一体感の醸成と
新たな郷土愛の育成

川口市制施行80周年を記念して



本市は、昭和8年4月に市制施行し、埼玉県で3番目の市として誕生しました。その後、平成13年4月に「特例市」に移行。平成23年10月には鳩ヶ谷市との合併で58万人都市となり、常に新たな取り組みを行う埼玉県南部を代表するリーディングシティとして発展を続けています。

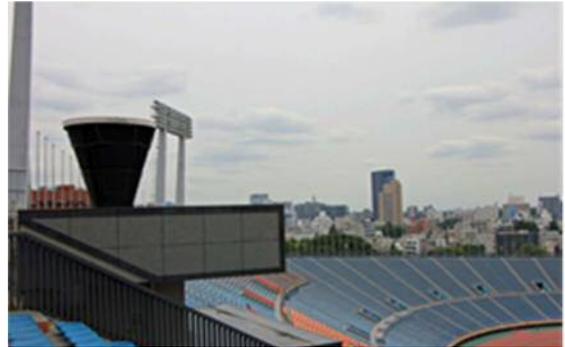
ご当地ナンバーの誕生は、新市発展の新たな礎になるものと確信しています。

市制施行80周年を記念し
新市発展の新たな礎に

Ⅲ 地域振興・観光振興の中でのご当地ナンバーの位置付け、活用方策

①ものづくりのまち川口を発信

本市は、鋳物産業に代表される「ものづくりのまち」です。東京オリンピックの聖火台は、川口の鋳物師親子が2代にわたって命を賭した作品で、そのエピソードはマスコミでも紹介され、多くの人々に感動を与えました。他にも、この鋳物産業を支える巧みの技の木型産業、高度な技術が集積する機械産業など、全国に誇れる「ものづくり」が川口にあります。



国立競技場の聖火台は川口鋳物の代表作の一つ

②緑化産業の活性化

～ 全国から注目される植木産業 ～

市内神根地区に整備中の（仮称）赤山歴史自然公園は、江戸時代、関東郡代の伊奈氏の居城であった赤山城跡の貴重な緑地を活かした自然公園として整備し、隣接する首都高速道路川口パーキングエリアとともに、首都高初のハイウェイオアシスとして一体的に整備しています。



（仮称）赤山歴史自然公園鳥瞰図

完成後は、車で気軽に立ち寄れる本市の新たな観光

拠点として、近隣の川口市立

グリーンセンターや道の駅あんぎょう・川口緑化センターなどとともに、周辺の緑化産業の活性化につなげながら川口への誘客を図ります。



川口市立グリーンセンター



道の駅あんぎょう・川口緑化センター

③交通安全施策 交通安全意識のさらなる啓発

～「ゾーン30」発祥の地 川口～

本市では、平成18年9月に市内で発生した多数の保育園児らが犠牲となった悲惨な交通事故を機に、生活道路に自動車のスピード制限を設けるよう国などへ働きかけました。

そして、平成23年に全国初となる生活道路における自動車の最高速度を時速30kmに規制する「ゾーン30」を実現させ、今では全国に広がっています。ご当地ナンバーの導入により、地域住民自らの交通安全意識をさらに高め、「交通安全都市 川口」を強力に推進します。



生活道路の時速30km規制「ゾーン30」

導入決定後の事業案



車両貼付用ステッカー案

キャッチフレーズを記したステッカーを作成し、「川口」ナンバーの自動車に貼付。“安全運転宣言車”として、ドライバーの運転モラル向上を図ります。

④川口の地理的位置を発信し、「川口」の地名をブランド化

～自動車物流の拠点性、利便性を全国に発信～

本市は、東北自動車道の起点、東京外環自動車道、首都高速川口線が交差する道路交通網の要衝となっています。

川口ジャンクションに代表される、首都東京と東北地方を接続する川口の地理的位置を全国に発信し、川口の知名度アップにより、川口のブランド化を図ります。



川口ジャンクション

また、約24,000の事業所が存する本市では、地元の物流業界（川口トラック協同組合）において高速道路アクセスの優位性を強みとして営業面での活性化を図るとともに、営業車に「川口」ナンバーを掲げることで、より一層の交通安全意識を高め、自動車運転モラルを向上させることにより、安全輸送の「川口」ナンバーというイメージを定着させたいと考えています。

⑤川口エコなまちづくり「低炭素都市かわぐち」の実現

～ 「かわぐちグリーン・エネルギー戦略」の推進 ～

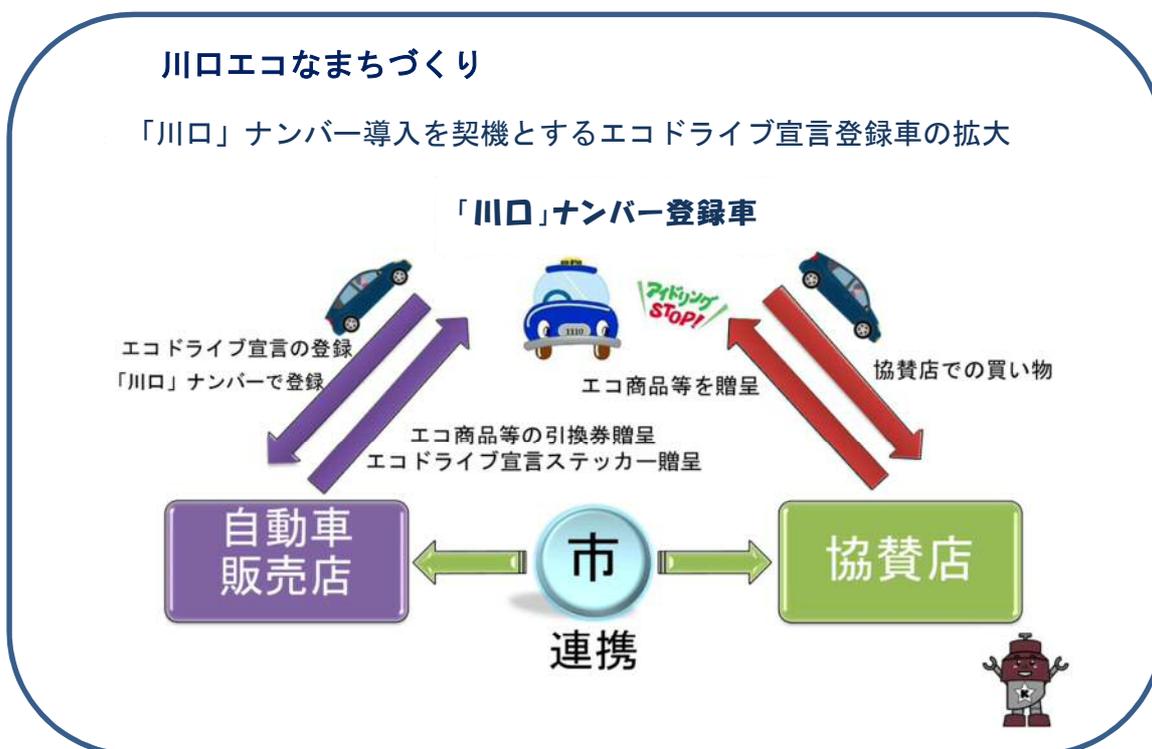
本市は、環境に対する施策にも力を入れています。その一環として、再生可能エネルギー利用の促進、省エネルギーの推進等を中心とするエネルギー政策として「かわぐちグリーン・エネルギー戦略」を策定しています。

ご当地ナンバー「川口」の導入に合わせ、

- ・次世代自動車の普及
- ・エコドライブの推奨
- ・EV・PHV充電設備の設置促進
- ・カーシェアリングの普及

など 各事業の推進を図ります。

エコドライブの推奨事業のイメージ図



Ⅳ 地域住民の具体的なニーズの状況

地域住民の具体的なニーズ

議会での質問

- 平成23年12月 埼玉県議会での一般質問
- 平成23年12月 川口市議会での一般質問
- 平成25年 6月 川口市議会での一般質問

産業界等からの要望書の提出

- 川口商工会議所（平成25年4月3日）
- 鳩ヶ谷商工会（平成25年4月12日）
- 川口トラック協同組合（平成25年4月26日）
- 川口市議会（平成25年4月4日）

導入に向けた産業界のキャンペーン活動



川口銀座商店街



イベント会場でのPR



川口商工会議所、鳩ヶ谷商工会、川口トラック協同組合では、ご当地ナンバーの導入について、市に要望書を提出されました。また、ご当地ナンバーの導入応援グッズを作成し、駅頭や市内イベントなどで、広く市民にチラシやポケットティッシュを配布する活動や、商店街などにのぼり旗を掲げ、ご当地ナンバー「川口」の導入機運を高めています。



ご当地ナンバー導入応援グッズ（左から のぼり旗、チラシ、ポケットティッシュ）

市民アンケートの実施

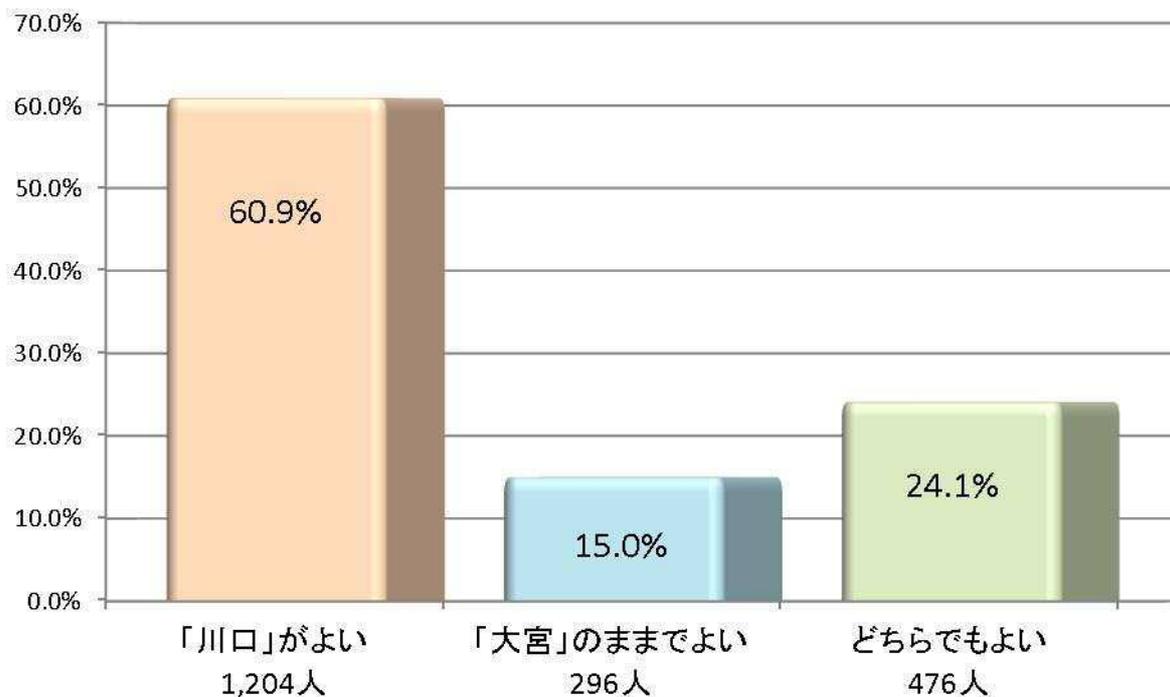
本市では、ご当地ナンバーに対する市民の具体的ニーズを把握するため、次のとおり市民アンケートを実施し、市民の意向を調査しました。

【アンケート実施概要】

実施期間 平成25年4月8日～22日
対象者 20歳以上の市民、5,000人を無作為抽出
実施方法 対象者に郵送、回答はがきの返信により、結果を集計
回答者数 1,976人 回答率39.5%

【アンケート結果】

「川口」ナンバー導入を希望する 1,204人 (60.9%)
「大宮」ナンバーのままでよい 296人 (15.0%)
どちらでもよい 476人 (24.1%)



【アンケートの分析結果】

「川口」ナンバーを希望する市民は6割を超え、実現に期待する声が多く寄せられました。一方、反対の市民からは、居住地域が特定されプライバシーの問題に関わるなどの意見が寄せられました。

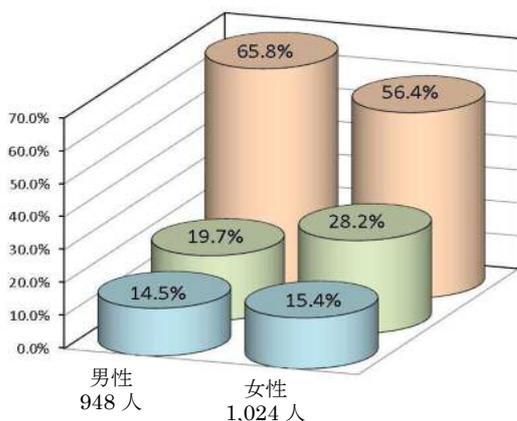
回答者の性別、年代、旧市域別、運転・自動車保有の有無等による分析結果においても、賛否の大きな偏りは認められず、多くの市民の賛意が得られている状況であると判断しました。

自由記載で寄せられた代表的な意見

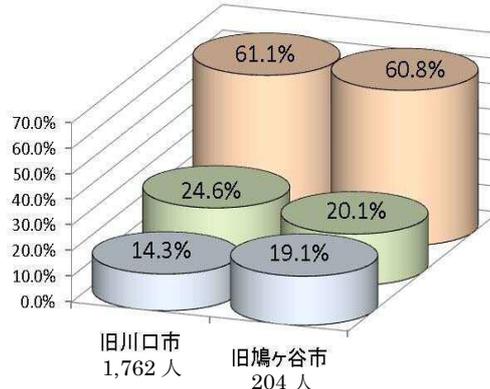
- 「川口」を希望する市民のコメント 271件
川口への親しみが増す、知名度アップにつながる など
- 「大宮」のままでよい市民のコメント 119件
必要性を感じない、地域を狭くして特定されたくない など
- どちらでもよい市民のコメント 101件
メリット・デメリットがよく分からない、ナンバーには関心ない など

市民アンケートの集計内訳

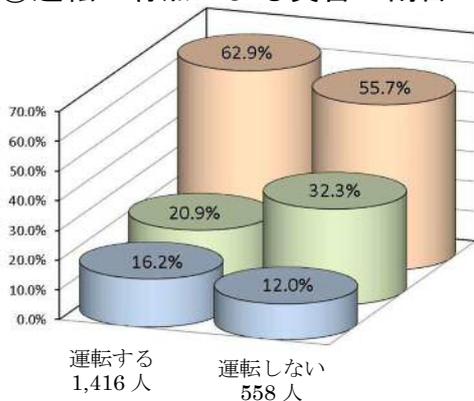
①性別による賛否の割合



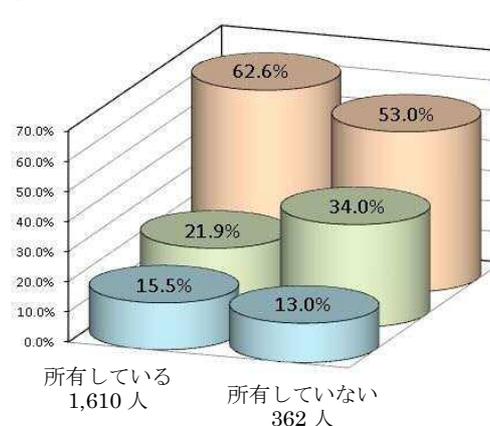
②旧市域別の賛否の割合



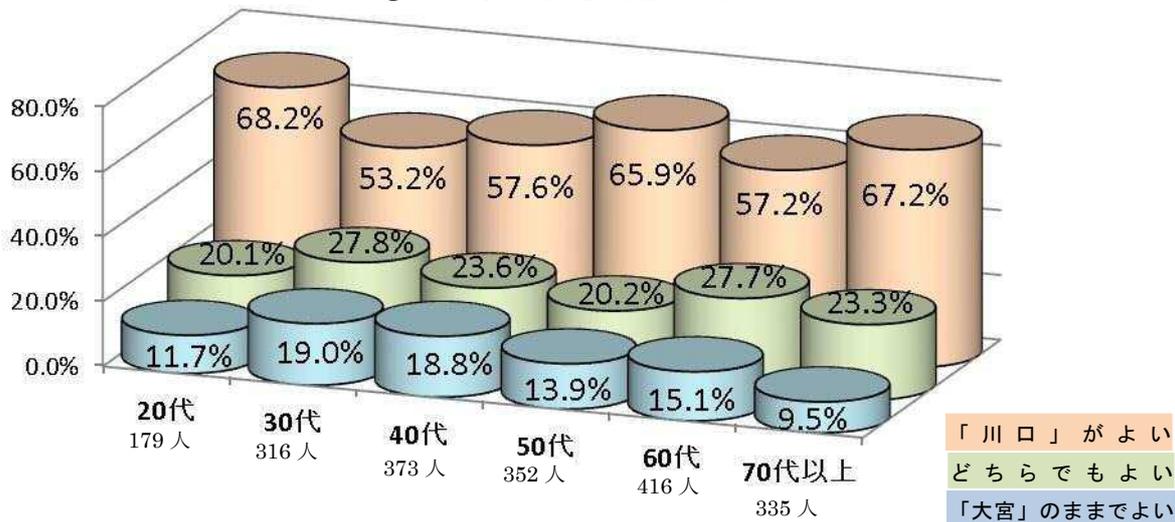
③運転の有無による賛否の割合



④自動車所有の有無による賛否の割合



⑤年代別による賛否の割合





荒川河川敷から見たJR川口駅周辺

平成25年7月26日
作成 川口市政策審議室